

平成26年度全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査（文部科学省，国立教育政策研究所）は，「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から，全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，教育施策の成果と課題を検証し，その改善を図ると共に，学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに，そのような取り組みを通して，教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」という目的で行われています。

対象の学年は，中学校では，3年生。調査事項は，国語と数学の教科の調査，質問紙調査等です。教科の調査では，「主として，『知識』に関する問題」（A）と「主として，『活用』に関する問題」（B），質問紙調査は，学習意欲，学習方法，学習調査，生活諸側面等に関する質問です。

本調査の概要では，「国語，数学の2教科のみであること，必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではない等のことから，本調査結果は，生徒が身に付いてるべき学力の特定の一部であったり，学校における教育活動の一側面に過ぎない。」と示されていますが，調査の結果を真摯に受け止め，今後の教育活動の指導，改善につなげたいと考えております。

本校においても，「学力向上校内委員会」を設置し，全国学力・学習状況調査の結果について，分析，評価しました。その結果を3年生学年通信で知らせたり，保護者との個人懇談でも，他の学力テストの結果を踏まえながら，学力や学習の状況について話し合い，学校と家庭が連携して子どもたちの学力を高めたいと思っております。

全国学力・学習状況調査の報告書（平成26年8月）によれば，国語，数学の学力と日々の学校生活，家庭生活と高い相関関係があると報告されています。

例えば，「ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがある。」（自尊感情），「学校のきまり守っている。」「友達との約束を守っている。」（規範意識）では，肯定的に回答している生徒が，全ての教科で平均正答率が高い傾向が見られるとされています。

そこで，本校の生徒の質問項目結果から，

「今後も引き続き実践ほしいこと（本校3年生の長所）」，
全国平均と比較して下位ではないが，「より実践することが望ましいこと（課題）」について，以下に示しました。

1 今後も引き続き実践ほしいこと（本校3年生の長所）

- ◎学校の決まりを守る。
- ◎読書が好き。
- ◎楽しく学校に行く。
- ◎確実に宿題をしたり，学習の復習をする。
- ◎自尊感情が高い。

2 より実践することが望ましいこと(課題)

◎話し合い活動を増やす。

◎授業でインターネット等を利用した調べ学習を増やす。

◎地域や社会で起こった出来事に興味・関心を持つ。

◎新聞を読む。

今後も、教職員一丸となって、生徒一人ひとりの学習・生活指導上の課題を把握し、学習改善、学習意欲の向上、生活の充実を図って参りたいと思っております。